



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「全ての世界に出て行こう」 “Go Ye Into All the world”
スローガン	「エクステンション、エクステンション、エクステンション」 “Extension, Extension, Extension”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia One World”
西日本区理事主題	「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」
スローガン	「経験がワイズを育みます」
中部部長主題	「長所を生かして生き生きと!」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを!」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club!”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句：塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味を付けるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。
マルコによる福音書9章50-51節

2013年8月強調月間

Youth Activities

身近なユースの活動を知り、協同を図りましょう。

正野 忠之 Yサ・ユース事業主任 (大阪河内クラブ)

☆☆☆8月第一例会案内☆☆☆	☆☆☆7月例会報告☆☆☆
日 時：8月8日(木) 19:00~21:00	[第一例会] キックオフ例会、7月11日(木)19:00~21:00、金沢白鳥路ホテル、卓話「第16回東日本区大会と東日本大地震・津波被災地“大槌”訪問に参加して」平口君、参加者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君。[第二例会]7月30日(火)19:00~21:00、金沢YMCA集会室、参加者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君。
場 所：金沢白鳥路ホテル(金沢市丸の内6-3)	第17回中部部会第3回準備委員会 8月7日(水)、18:00~、金沢都ホテル。
会 費：3,000円	第17回中部部会 8月31日、金沢都ホテル。中部評議会 11:30~12:30、中部ネット会(ネットアワー)11:30~12:30、中部部会 13:00~17:30。
準 備：竹中君	9月の当番 司会：竹中君、準備：平口君
プログラム	今月の聖句について 第9章の最終段落(42-50節)末尾に記されている。48節までは「もし片方の手があなたをつまづかせるなら、切り捨ててしまいなさい。」のごとく、文字通りには受け取りがたい言葉が連ねられていて、それに続いて塩の喩えが記されているのだから、塩気をなくすような誘惑は切り捨ててしまえということなのだろう。
司 会：北君	
開会・点鐘：澤瀬会長	
ワイズソング：一同	
今月の聖句：司会者	
ゲスト紹介：司会者	
今月のハッピーパーティー：澤瀬会長 該当者なし。	
食前の感謝：三谷君	
—— 会 食 ——	
卓話：「白山の魅力を探る」 三谷幹雄氏(NPO法人 石川県自然史センター専務)	
事業委員報告：各委員	
ニコニコタイム：川村君	
閉会・点鐘：澤瀬会長	
*例会に使用済み切手をご持参ください。	

当クラブ	7月出席者	6月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	メ ン 6名	100%	前月繰越切手 2,428g	4月累計 188,737円
広義会員 0名	メネット 0名		7月分切手 5g	7月分 5,200円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 0名		切手 2,433g	
			現金 0円	
合計 6名	8名	100%		累計 193,937円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 7月第一例会に参加して ◆

川村 孝治

例年、7月第一例会は年度(7月1日～6月30日)最初のキックオフ例会ですので議事中心の例会となります。今回は、議事に入る前に平口ワイズによる卓話「第16回東日本区大会と東日本大地震・津波被災地“大槌”訪問に参加して」がありました。

従来、キックオフ例会終了後、皆で片町へお酒を飲みに行くのが恒例でしたが、8月31日開催の中部部会のこと気がかりで、それどころではないように見受けられました。

当クラブは、会員数が少ないだけでなく、全員60～80歳台という高齢グループですから、クラブ自体の活動にも何かと支障が生じています。しかも、今年度は中部部会のホスト役という重責を担っているのですから、楽しむ余裕がなくなりがちですが、とにかく部会を成功させて、後日、慰労会を盛大にしたいものです。



◆ 東日本大地震・津波被災地“大槌”訪問 ◆

平口 哲夫

2011年3月11日に起きた東日本大地震の被災地をお見舞い訪問したのは、これが4度目。3度目までは仙台市・多賀城市・松島町など宮城県内に限られており、岩手県まで足を運んだのは、2013年6月8～9日、花巻温泉・千秋閣で開催のワイズメンズクラブ第16回東日本区大会に参加するついでに、東京武蔵野多摩クラブ企画の大槌町訪問(6～7日)に同行したのが初めてであった。

大槌町には、2001年10月6～8日に盛岡で日本考古学協会大会が開催された際、鯨類考古学的な目的で単独訪問、その地で開業医をしている教え子にも会って酒を酌み交わしたことがあったので、遅まきながらぜひお見舞い訪問したいと思っていた。この絶好の機会を得たのは、MLのyscomで見た案内投稿のおかげである。(続く)



(安渡第2仮設に隣接する安堵小学校の元校舎にて)

◆ 第17回中部部会に“いらっし” ◆

会長・準備委員長 澤瀬 諭

第17回中部部会の開催まで後一ヶ月をのこすのみとなり、金沢クラブのご支援をいただきながら準備をすすめております。会員6名のクラブでホスト役を務めねばならず、ひとり二役三役をこなし、部長主題「長所を生かし生き生きと」を胸に、各人がそれぞれ得意とする分野で部会の成功に向けて鋭意努力を重ねているところです。

参加者目標数100人を掲げ、これまで西日本区大会を始めいろいろな機会を捉え参加を呼びかけてきましたが、参加申し込みの出足が鈍く、心配しております。金沢に集うワイズ・メットの皆様がこの機会に金沢の魅力を感じていただき、「金沢に来てよかったなあ」と少しでも楽しく満足していただける部会にしたいと思います。ワイズ・メットの皆様、中部はもちろんのこと、他の部からも多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。



◆ 金沢YMCA わいわい農園報告2 ◆

地域奉仕・環境委員長 北 肇夫

今期フリテン7月号で「金沢YMCA わいわい農園」の計画経緯や事業内容について報告した。今回は、その後の事業展開などについてお知らせする。

当事業の参加費納入者は、現時点で金沢YMCA3名、金沢・金沢犀川ワイズメンズクラブ各6名、総勢15名。委員会制で運営し、委員長は委員会でご互選することになっているが、今のところ、実質的に朝倉理事長がチーフ、斎藤しのぶさんが会計担当、金沢犀川クラブのメンバーが実施部隊として活動している。

当農園の設置場所は、北陸学院・三小牛キャンパスの小学校体育館隣接地で、今春「たけのこ掘り体験」をした竹林の手前に位置している。北陸学院の農園は、小学校各クラスの畝や大学サークルの畝が割振られている。金沢YMCA用の畝は、当初計画よりも縮小、畝数2本、畝幅1.2m、長さ約10mの規模となっている。

有志による最近の現地作業はつぎのとおり。

- ①6月2日:農園の伐根、除草、耕運、畝立て、施肥、マルチングなど。当農園の看板を立てた。
- ②6月4日:サツマイモ(五郎島金時)の葉挿し、枝豆(茶豆の香り姫)や落花生の種子播き、切花用の球根(タリアやグラジオラス)の植込み。実質的な「開園日」。
- ③その後:7～10日毎に点検や除草。近くに散水栓があるので、管理作業には最適な環境。除草作業は、通常、多くの時間が費やされるが、今回、ビニールマルチングの敷設が効果を発揮し、省力化に成功。しかし、両隣農地からのつる性雑草には、手を焼いている。

今後、8～10月頃の収穫や切り花などを皆さんに楽しんでいただけるよう農園管理に心掛けてゆきたい。